

「景観法の活用で、どこまで景観は守れるのか？ 守るべき景観とは？」

と題しまして、

文化財と共に歩む街づくりとは？

「本当に美しいまちは創れるのか？ みんなが住み続けたいと思えるまちとは？」 の  
プレ企画として、5月26日、10:00～12:10AMの予定で勉強会を開催します。

主催：有限会社 健康住宅研究所 住宅生産性研究会（HICPM）近畿支部

後援：住宅生産性研究会（HICPM）本部（理事長：戸谷 英世）

文化財保存全国協議会（代表委員 石部 正志 十菱 駿武）

日時：07年5月26日 午前10時～12時（予定）

場所：さかい新事業創造センター1階ホール（地下鉄御堂筋線なかもず駅下車）

資料代：¥1,000 -

#### 進行次第

：「景観法を活用した街づくりの展望」と題して、

竹山清明（京都橘大学教授）から基調報告（10:05～10:45）：40分

：堺に於ける、守るべき「歴史的景観とは？」をどう考えるか？について

堺を中心に、50年以上古墳を初めとする文化財の保存運動に生涯をささげて  
おられる宮川徭（すすむ）さんから、もう一度

「古代・中世・近世の堺から学ぶ」（95年に講演された内容に今日的発展を加  
えて）と題しての報告（10:45～11:20）：40分

：西野文化村と大美野「田園都市」開発の関わり、井村氏版の物語について

オダサク倶楽部主宰：井村 身恒氏（登美丘高校 教諭）

（11:20～11:40）：20分

：登録文化財に住むということ：兒山家現当主：兒山万珠代さん

（11:40～11:55）：15分

質疑応答：約10分

以上を受け、午後からのセミナーでは、具体的な文化財の保存事例と活用方法  
そして、新しい枠組みでの美しい住宅地開発の理論と事例について考える。

問合せ：(有)健康住宅研究所 猪谷(090-8379-1626 [shishiya@nifty.com](mailto:shishiya@nifty.com))